

文章題テスト・小説(1)

月 日
名 前

10
問正解

★ つぎの文しようを読んで、後のもんだいに答えましよう。

ある日、あゆむが学校から帰つてくると、後ろから、りかと和子かずこが追いかけてきて、りかが声をかけました。

「あゆちゃん、ちよつと待まって。たのみたいことがあるのよ。」

「どんなこと？」

立ちどまったあゆむに、和子が言いました。

「あのね、このごろ、としゆきくんたちがわたしのことをチンパンジーってよぶでしょう。わたし、あしたの学級会がっきゅうかいでそのことを言うから、あゆちゃん、おうえんしてね。」

「たのむわ、あゆちゃん。」

と、りかも言いました。

「うん、おうえんするよ。」

あゆむは女の子にたよりにされたので、

《 》、むねをそらして引きうけました。

そのつぎの日の学級会の時間、あゆむが待っていると、いよいよ、となりのせきから、和子が立ち上がって言いました。

「わたしのことをチンパンジーという人がいるけど、わたし2のどこがチンパンジー3ににてるんですか。」

とたんに、としゆきが言いました。

「ひたいのところが、よくにてるよ。」

本田ほんだくんも言いました。

「口のところなんか、そっくりだよ。」

「はあい、まゆ毛のところ。」

なん人もの子が、あそこもにている、ここもにている、と口ぐちに言い出しました。和子4はまっ赤かになってつぶやきました。

「しまった。言うんじゃなかったわ。」

その顔は、ちつともチンパンジーにはにいていません。

あゆむは、ぱつと手を上げました。

「はい、あゆむくん。」

あゆむは立ち上がってしゃべりました。「和ちゃんがチンパンジー1ににてるんだったら、ぼくたちみんなチンパンジー2ににてるよ。ぼくたち、チンパンジー3と親るいだもんな。だから、和ちゃんのことをチンパンジー4というのは、おかしいんだ。」

そのあと、りかが言いました。

「人をあだ名でよぶのは、よくないと思います。」

そこで、学級会は、和子をチンパンジーというあだ名でよばない、ということがきまりました。

(古田足日「だんち5階がぼくのうち」より)

(注) 親るい…同るい、同じようなもの



1 線1 「たのみたいこと」とは、どのようなことですか。次の□にあうことを、文しよう中から書きぬきましよう。

あしたの学級会で、あゆむが、**和子**の

おうえん

をすること。

11〜13行目の和子のことば「わたし、あしたの学級会でそのことを言うから、あゆちゃん、おうえんしてね」から考える。

(各4点)

2 線2に当てはまることばを、ア〜エから一つえらんで、記号に○をつけましよう。
前後「女の子にたよりにされた」「むねをそらして引きうけました」から考える。

ア うれしくなって イ がっかりして ウ かなしくなって エ いらいらして

3 線2 「わたしのどこがチンパンジーにってるんですか」とありますが、みんなはどこがにていると言っていますか。文しよう中から三つ書きぬきましよう。
線2の後をよく読む。

ひたい(の)ところ

口(の)ところ

まゆげ(の)ところ

4 線3 「とたんに」とほぼ同じいみのことばを、ア〜エから一つえらんで、記号に○をつけましよう。「ちょうどその時」「同時に」という意味。

ア いつものように イ ばかにするように
ウ ほとんどどうじに エ しばらくしてから

5 線4 「和子はまっ赤になって」について、①、②のもんだいに答えましよう。
① 和子の何がまっ赤になったのですか。文しよう中から一字で書きぬきましよう。

和子の **顔**

② このときの和子の気持ちとして当てはまらないものを、ア〜エから一つえらんで、記号に○をつけましよう。
みんなに「あそこもにている、ここもにている」と言われて、「しまった。言うんじゃないかったわ」とこうかいている。

ア はずかしい ① イ うれしい ウ かなしい エ くやしい

6 あゆむやりかのがんばりで、学級会ではどのようなことがきまりましたか。文しよう中のことばを使って、二十字くらいで書きましよう。おわりの3行をよく読む。

う	和	子	を	チ	ン	パ	ン	ジ	ー	と	い
あ	だ	な	で	よ	ば	な	い	こ	と		

